

市川市の図書館では、民間の外部データベースも活用して、レファレンスにんでいます。インターネットを通じて利用できる外部データベースは、従来は検索回数や接続時間など、その利用に応じて費用がかかる従量制が主でしたが、今では料金固定制で導入しやすいデータベースが増えてきました。このため図書館来館者にも、自由に利用してもらうサービス形態が可能となりました。

但し各社のデータベースは、いろいろ“癖”があり、検索する際に、ある程度のスキルが必要となります。もし検索方法やキーワードが分からない場合は、やはり図書館司書が代行検索いたします。

## 市川駅南口図書館で有料データベース閲覧端末の導入・・・

平成21年4月30日に開館した、市川駅南口図書館では、インターネットを通じて利用できる民間の有料データベース閲覧端末を3台設置してあります。有料データベースは、「駅前の便利な情報拠点」と言われる市川駅南口図書館の中でも、一番利用価値が高いツールと言えます。

書架スペース狭隘につき、各新聞社が発行する新聞原紙の一定期間の保存が困難であるため、新聞記事データベースが主にありますが、百科事典、ビジネス支援や医学・健康情報等の外部データベースも導入しています。これらの閲覧は、来館者に無料で提供しており、検索結果のプリントアウトのみ紙代をいただいています。

なお中央図書館でも、市川駅南口図書館とほぼ同じデータベースをレファレンスサービスの一環として導入しており、レファレンスカウンターの職員が代行検索をしています。

### I. 新聞記事のデータベース

#### ①聞蔵Ⅱ 朝日新聞社オンライン記事データベース

戦後1945年から1984年までの朝日新聞紙面イメージ、1984年以降の記事全文検索ができます。また「週刊朝日」「アエラ」の記事も検索対象にできます。

#### ②ヨミダス文書館 読売新聞記事データベース

1986年9月からの読売新聞と1986年9月からのTHE DAILY YOMIURI(英字新聞)を収録。ほかに、随時更新される「よみうり人物データベース」が利用可能です。

#### ③毎日Newsパック 毎日新聞記事データベース

1987年以降の毎日新聞毎日新聞東京本社発行の朝夕刊最終版の全文をはじめ、各都道府県の地方面の記事全文検索ができます。また毎日新聞の創刊号から50年前までに発行された新聞のうち、重大な事件を報じた紙面をPDFで収録されています。他に2001年1月からの週刊『エコノミスト』の全文記事も収録。

#### ④日経テレコン21

日経四紙(日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞MJ、日経金融新聞)の新聞記事から収録。1975年以降の見出しと一部記事の抄録、1981年以降の記事全文検索ができます。その他、企業・財務情報に加え、マーケット情報やマクロ・地域経済統計などのデータが参照できます。

#### ⑤ELDB(レファレンスカウンターで代行検索)

1988年以降の全国紙、地方紙等の主要記事、約1,400万件を収録しています。複数の紙誌を横断的に一括検索できるのが特徴です。

### II. 法律情報

#### ⑥LexisNexisJP 判例・法令検索データベース

昭和23年以降に発行された公式判例集・商業判例雑誌に掲載された判例を全件収録。また大審院判決録及び大審院判例集を明治28年の創刊号よりPDFファイルで収録。全体として、判例全文約19万7千件、判例解説約4万3千件、大審院判例19,900件、現行法令約7,200件を収録しています。

#### ⑦官報情報検索サービス

国立印刷局が提供する官報情報サービスです。昭和22年5月3日から当日分までの官報の全文を収録しており、本紙・号外・政府調達公告版、資料版、目録が全文検索できます。

法令の検索をするならば、まず網羅的に法律を掲げたものとして『現行法規』にあたりますが、速報性を重視したり、また過去の法律を確認するならば『官報』で探すのが便利です。

### Ⅲ. 医療情報

#### ⑧医学中央雑誌 Web 版 (※)

国内発行の医学関連定期刊行物約 4700 誌より収集した医学文献情報約 600 万件 (年間 30 万件) の検索ができます。どの雑誌に収録されたかを知り、文献の要旨まで知ることができますが、記事や論文の本文は、別途取り寄せが必要な場合が主です。

※契約上、中央図書館では利用できません。後日回答可のレファレンスとして承ります。

### Ⅳ. 経営情報

#### ⑨JRS 経営情報サービス

経営戦略、人事労務、賃金、特許情報、税務、業界事情、海外情報、朝礼スピーチ等、主に中小企業経営に的を絞った約 1 万 5 千件に及ぶ経営情報を収録しています。

### Ⅴ. 百科事典ほか

#### ⑩ブリタニカ・オンラインジャパン

日本語の『ブリタニカ国際大百科事典』と英語の Encyclopaedia Britannica をベースとした、国際的な百科事典のオンラインサービス。すでに印刷本としては刊行されていません。日本はもとより、世界が認める一流の知識人による執筆・監修がなされ、現時点で最も信頼のおける情報を掲載しています。年 4 回更新され、内容も最新の情報が掲載されています。

#### ⑪MAGAZINEPLUS & BOOKPLUS (日外アソシエーツ web サービス)

「MAGAZINEPLUS」は、主要な雑誌記事の検索と簡単な抄録情報を収録したデータベースです。国立国会図書館の「雑誌記事索引」には含まれていない学会年報・研究報告書の論文、一般誌・総合誌・ビジネス誌等も収録されています。

「BOOKPLUS」は、1927 年から現在までに国内で出版された約 180 万冊にのぼる図書の情報を収録したデータベースです。

## 新聞記事データベースを使って過去事例を再検証

★ 「本郷館」本郷 6 丁目の木造建築について書かれた新聞記事がみたい。[2001.02 分類:527.8]

**RETRY:** 「聞蔵Ⅱ：朝日新聞社オンライン記事データベース」で AERA まで対象に含んで検索してみる。

- ・ 「本郷館の人々 (V I A ・ A E R A)」アエラ 1991 年 09 月 10 日
  - ・ 「(メガロポリス 街ひと) 名残尽きぬ本郷館 100 年続く巨大下宿、取り壊し計画」朝日新聞夕刊 2007 年 04 月 26 日 夕刊
- 以上の記事が見つかった。

★ 電車内でウォークマンの音を注意された者が、注意した人を殺してしまった事件について知りたい。  
[2003.12 分類: 368.6]

当時の回答：朝日新聞記事データベースで “ウォークマン”、“ヘッドホンステレオ”、“電車”、“殺人” 等のキーワードを掛け合わせて検索するもヒットなし。「被害者は亡くなったのか」と利用者に確認したところ「確かではない」との回答だったため、「殺人」を「傷害」に変えて再度検索したところヒットした。なおこの質問を受けた 2003 年当時は、朝日新聞記事データベースのみ導入していました。

**RETRY:**

- ①はじめに「聞蔵Ⅱ」で “ヘッドホン 傷害 車内” のキーワードで検索して、1 件ヒット。
    - ・ 「都立大生、ヘッドホンステレオの音を注意した人殴る 東急大井町線」1989.10.05 社会 31 面
  - ②次に、同じキーワードで「ヨミダス文書館：読売新聞記事データベース」を検索してみる。
    - ・ 「ヘッドホン騒音でついに傷害事件 車内、注意され殴る 都立大生逮捕」1989.10.05 東京朝刊社会面
    - ・ 「[社説] 若者の自分本位な音の暴力」1989.10.06 東京朝刊 三面
    - ・ 「ヘッドホンボリュームおさえて音 傷害事件機に都営・営団地下鉄がポスター作戦」1989.10.17 東京朝刊 都民 2 版
    - ・ 「電車内ヘッドホン事件 大学生に猶予判決／東京地裁」1989.12.26 東京夕刊社会面
- 以上のように読売新聞では、社説や関連記事も併せて見る事ができた。
- ③毎日新聞でも同じ事件が 2 件ヒットした。